

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年6月7日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年6月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【既設多核種除去設備の電源不具合について】 既設多核種除去設備の電源設備の不具合により免震重要棟での監視が不能となり、既設多核種除去設備の運転ができない状況になった。 その後、不具合箇所を除外し運転を再開。 今後、不具合箇所の交換を行う。	G II
2	【窒素ガス分離装置(C)圧縮機運転パネル「シリンダ出口空気温」発生について】 窒素ガス分離装置(C)空気圧縮機運転パネルにて「シリンダ出口空気温」が発報していることを確認したため、窒素ガス分離装置(A)(C)→(A)(B)切替を実施し、(C)を待機状態とした。 今後、原因を調査する。	G III
3	【入退域管理棟の水道水(マスク洗浄水)漏えいについて】 入退域管理棟の屋外で使用済みマスク洗浄作業用の、水道水を電気分解したpH6程度の水(マスク洗浄水)の漏えいを確認。 漏えいした水は非放射性で、汚染なし。	G III
4	【5号機スタックサンプルポンプ(A)異音発生について】 運転中のスタックサンプルポンプ(A)から異音が発生しているのを発見。 サンプルポンプを(A)→(B)へ切り替えを実施。その後異音がないことを確認。 なお、サンプリングは正常に行われており系統機能は喪失していない。	G III